

ボランティア情報紙



～人と人のつながりを大切に～

このボランティア情報紙『わ』では、聖ヨゼフ園にボランティアに来ていただいている方々の紹介や聖ヨゼフ園と地域の方々との交流の様子などを掲載していく予定です。

人と人が出会えた瞬間に「わっ！」と感動し、そこに自然と「輪」ができる、そして人から人へとその“輪”が広がり、その輪の調和がとれた瞬間…「和」となる。「人と人のつながり」を大切にしたいとの思いから、この情報紙名にしました。

あけましておめでとう ございます！

去年は東日本大震災が起こり、『がんばろう、ニッポン!』を合言葉に日本中が助け合い、『絆』の大切さを再確認した年でした。聖ヨゼフ園でも、たくさんの方々を支えられ、元気に新しい年を迎える事が出来ました。これからも皆様への感謝を忘れずに、『人と人のつながり』を大切にしていきたいと思っております。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。



安心・安全なボランティア活動を！

近年、ボランティア活動への関心が高まり、幅広い世代でボランティア参加者が増えています。しかし、その一方でボランティア活動に関する事故の発生件数も増加しているのが現状です。

ボランティア活動での事故とはどういったものがあるのでしょうか？いくつか例を挙げてみましょう。

- 高齢者の歩行介助ボランティア中に少しその場を離れ、相手の方が転倒し、ケガを負った
- 活動中に施設の設備や備品等を破損してしまった
- ボランティア先で出た食事が原因で食中毒を起こした
- ボランティアへ向かう途中（帰る途中）に交通事故に遭った



など、ボランティア活動での事故はボランティアする側・される側のどちらにも起こりうる事です。さらに、活動中のみでなく活動に関する場面での事故も含んで考えられます。

いくら自発的に行っている活動と言っても、ボランティアには何の責任も無いということはありません。実際に上記の例にある転倒事故では、転倒した方が後遺障害の残る重症となり、訴訟問題に発展したケースもありました。ボランティア活動では、相手はもちろん自分自身の事も守らなくてはなりません。そのため、身の回りの環境や、参加する際の体調・服装等に危険につながる要素がないか確認するなど、自分で出来る「危機管理」が欠かせません。また、ボランティア活動保険に加入する等もしもの時の対策を考えることも大切です。安心・安全を守ることは、楽しくボランティア活動に取り組むための第一歩ではないでしょうか。

※ボランティア活動保険についてはお近くの社会福祉協議会にご確認・ご相談ください。

第4回 ボランティア紹介コーナー

「オカリーナ」



オカリナ演奏ボランティア

第4回は「オカリーナ」の皆さんです。平成19年より「オカリナ演奏ボランティア」としてご来園いただいております。当初は2人での活動、翌年より新たなメンバーの参加があり、現在は女性3人で活動されています。活動日は不定期です。高音と低音で奏でる素敵なハーモニー…素朴な透明感のあるオカリナの音色に包まれると、こころも優しくなり自然と笑みがこぼれます。童謡から歌謡曲までの幅広い楽曲を演奏され、一緒に歌を口ずさんだりして楽しいひとときを提供して下さるので、入所者の皆さんは「オカリーナ」の皆様のご来園を楽しみにされています。今後どうぞよろしくお願いいたします。

地域との触れ合いを大切にしております

当園がある大刀洗町には、「大刀洗町ドリームまつり」という、1度/年の町民・団体等の総参加による大イベントがあります。このお祭りは大刀洗町の文化及び産業の将来を展望し、文化活動の発展及び産業の振興を図り、健康福祉に対する理解を深めるとともに、ふるさと大刀洗町の再認識に寄与することを目的としたものです。多くの地域の方々が出店・出品され、様々な催し物を行います。その中の一つの場所をお借りして、数年前から当園も参加させていただいております。入所されている方も地域住民の一員として楽しく参加させてもらっています。

同じ大刀洗町に住んでいる方でも、当園をご存知ない方が多くいらっしゃることを知ってから、少しでも多くの方に当園を知っていただき、多くの地域の方々との交流を図りたいとの思いから参加を始まりました。

内容は、ボランティアさんの活動報告、入所されている方が作ったはがき、ポチ袋等の販売、当園の紹介などです。当園には年間延べ300名ものボランティアさんに来ていただき、入所されている方との交流をしていただいております。話相手だったり、一緒に制作活動を行ったり、散歩に出掛けたり…外からの新鮮な風を運んでいただいております。そして何より、ボランティアさんの存在は入所されている方の元気の源になっております。



有難いことに、このような場をお借りして、多くの方が当園に興味を示して下さい、これを機にボランティアに来て下さる方もいらっしゃいます。

私達が地域で安心して過ごすためには、地域の方のご理解・ご協力が欠かせません。私達が地域に積極的に出ていくことも大切ですが、この情報紙を手に取り、少しでも興味を持った方がいらっしゃったら、ぜひ遊びにお越し下さい。入所されている方、職員一同、心よりお待ちしております。

ボランティア募集中！

聖ヨゼフ園は重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持った方々の入所施設です。120名の方が入所しており、平均年齢は45歳です。入所者の方々はそれぞれ好きな事や得意な事があり、人とふれあうことも大好き！当園では様々なボランティアさんに、音楽・ダンス・オセロなど趣味や特技を活かした活動や、会話を楽しむお話相手など、自分に合った形で活動していただいております。新しいボランティアさんも随時募集していますので、興味のある方は下記までご連絡ください！

ご質問等もお気軽にどうぞ♪
お待ちしております！



- 発行元：社会福祉法人 慈愛会 重症心身障害児者施設 聖ヨゼフ園
- 住所：三井郡大刀洗町山隈374-1 □ 電話：0942-77-1393
- 編集：地域福祉部 □ メール：volun@jaikai-fuk.or.jp

